

# ビルングシステム株式会社

---

2016年12月期決算説明資料

2017年2月28日  
代表取締役社長 江田敏彦

# 1 2016年12月期 決算概要

### 売上高

**1,865百万円** （前期比 + 25.7%）

- 前期比381百万円増加。主因は、支払代行サービスの増加163百万円、QCS(株)の子会社化による収納代行増加170百万円が主因。

### 営業利益

**223百万円** （前期比 + 35.9%）

- 前期比59百万円増加。主因は利益率の高いクイック入金 of 増加38百万円、その他支払代行サービスの増加、送金代行サービスの増加も寄与。人件費、賃料等販売管理費増加するも、粗利の増加が上回る。

### 親会社株主に帰属する当期純利益

**△55百万円** （前期比 —）

- Powa Technologies Group PLCに対する投資有価証券評価損201百万円を計上。

## 1.2 主要トピックス

### 既存ビジネスのサービスの見直し、レベルアップと再構築

- ・ 収納代行 （口座振機能のレベルアップ）
- ・ 支払代行 （公共料金支払代行サービスの拡販）

### スマホマルチ決済サービス 「PayB」の自前開発

アライアンス先の経営破綻を機に自前開発に切り替え、日本のマーケットに即した独自機能を搭載し開発完了。

### インバウンド対応

中国からの来日観光客向けスマホ決済機能を提供。WeChat、銀聯による決済を開始。越境EC関連販売支援基盤の構築。

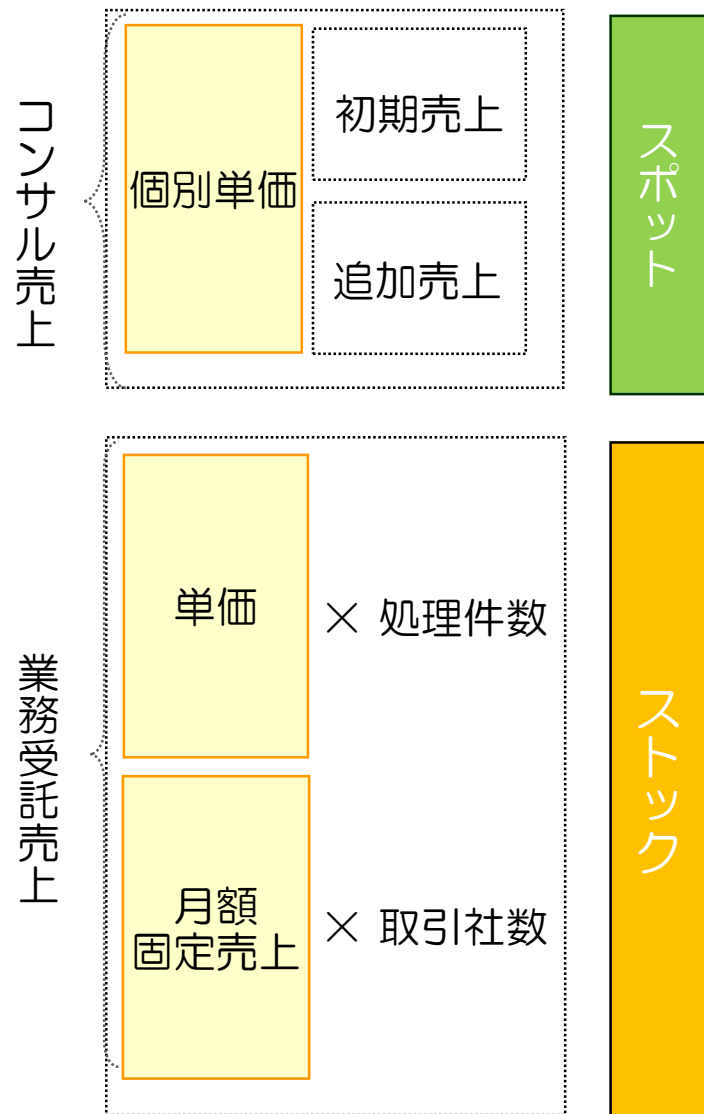
# 1.3 連結損益計算書の概要

単位：百万円

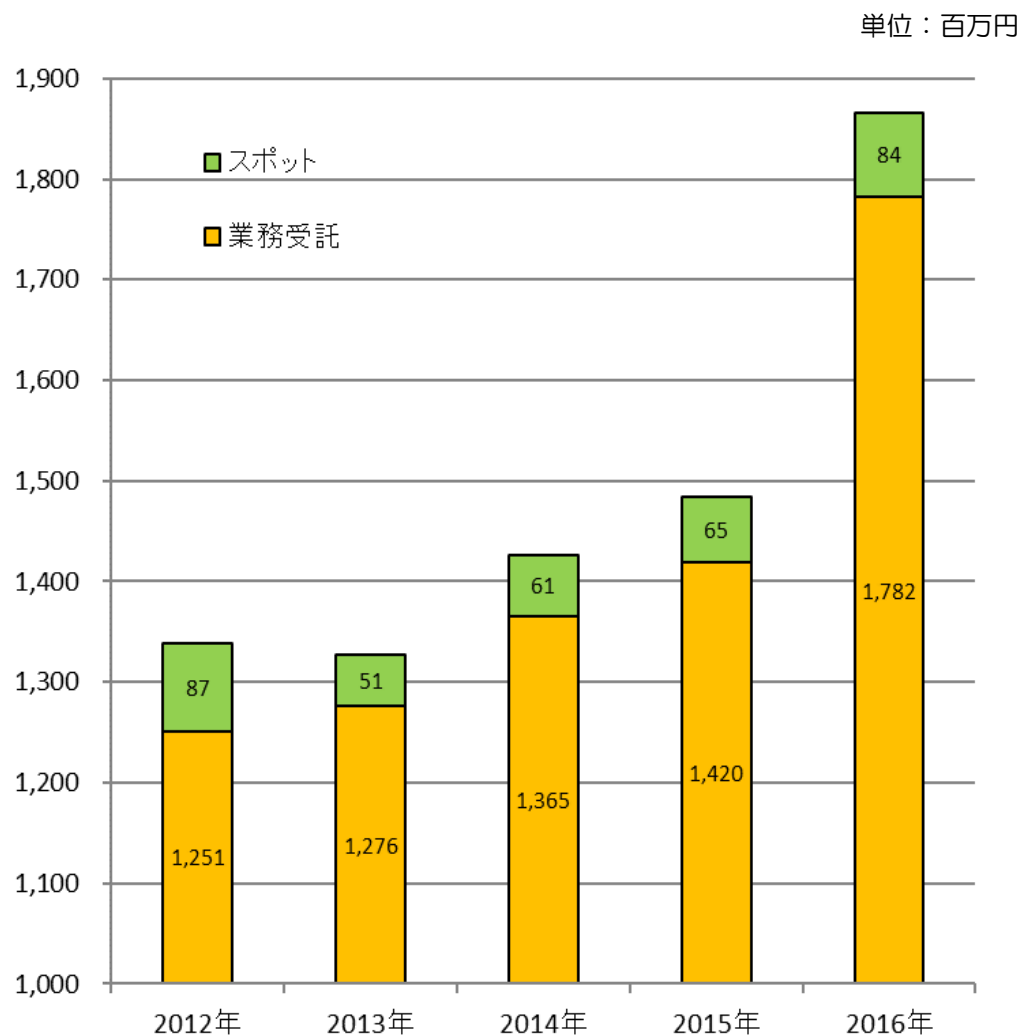
|                         | 2015年12月期 |        | 2016年12月期 |        |       |       |
|-------------------------|-----------|--------|-----------|--------|-------|-------|
|                         | 金額        | 構成比    | 金額        | 構成比    | 前期比   | 期初計画比 |
| 売上高                     | 1,484     | 100.0% | 1,865     | 100.0% | 25.7% | 8.0%  |
| 売上総利益                   | 511       | 34.5%  | 651       | 34.9%  | 27.3% | 23.3% |
| 営業利益                    | 164       | 11.1%  | 223       | 12.0%  | 35.9% | 95.3% |
| 経常利益                    | 165       | 11.1%  | 222       | 11.9%  | 34.8% | 95.0% |
| 親会社株主に<br>帰属する当期純<br>利益 | 143       | 9.7%   | △ 55      | △3.0%  | -     | -     |
| EPS                     | 90円73銭    | -      | △34円66銭   | -      | -     | -     |

## 1.4 売上構造

### 業務受託（ストック）積上が基本



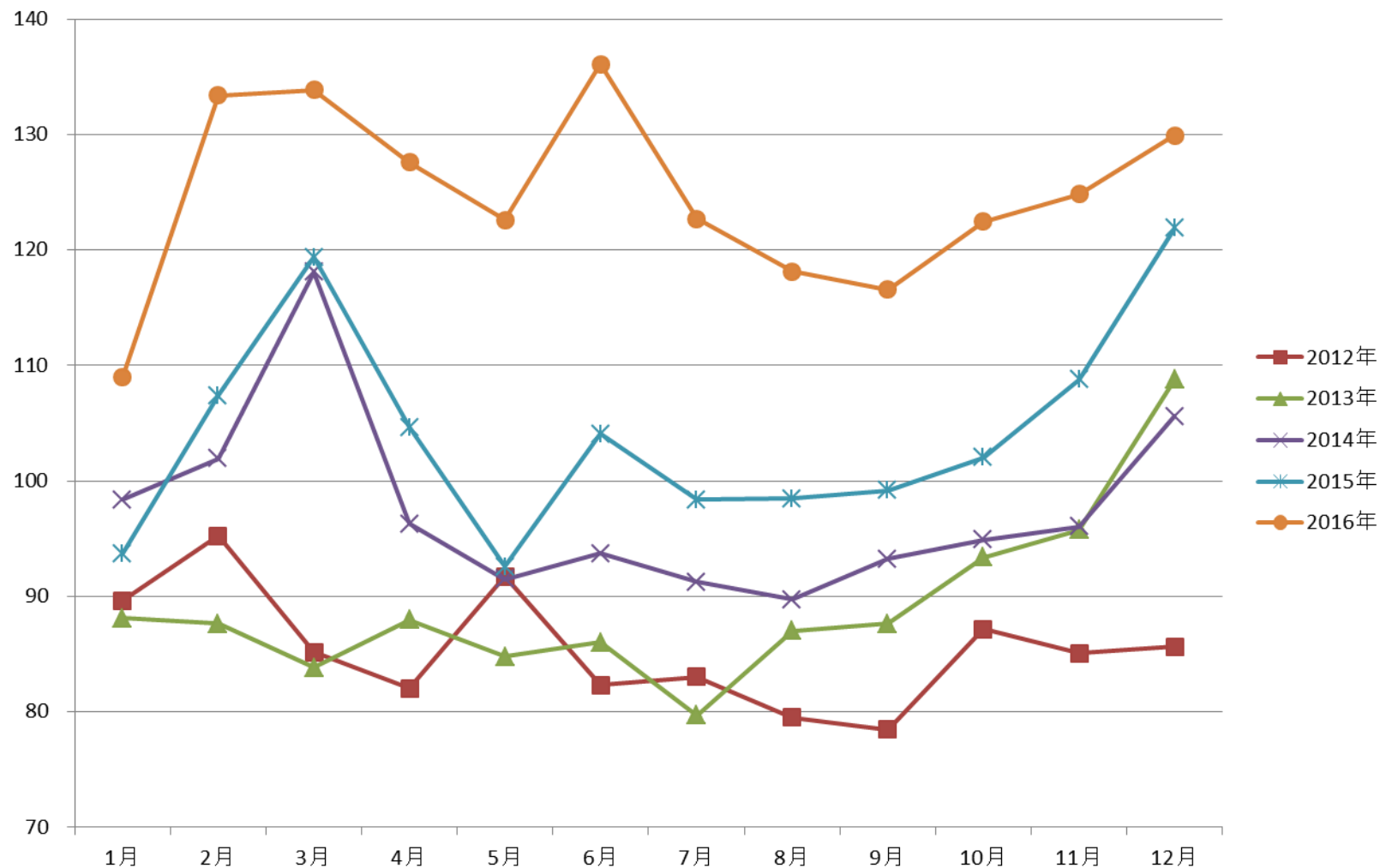
売上実績推移



## 1.5 業務受託月別売上推移

(百万円)

単体



## 1.6 サービス別売上推移

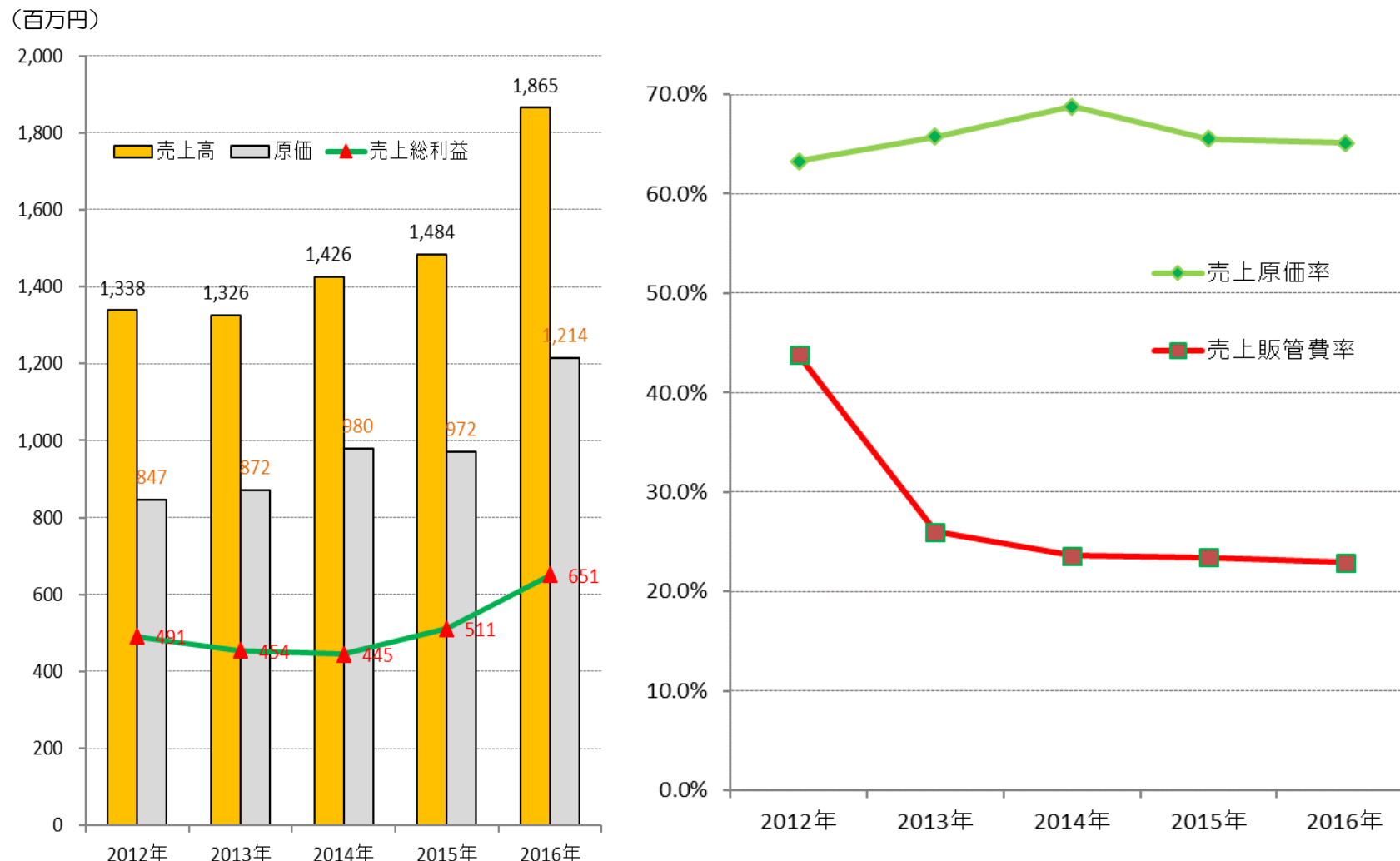
連結

単位：百万円

|           |           | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|-----------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| クイック入金    | 業務受託      | 228   | 272   | 254   | 283   | 300   |
|           | コンサル・スポット | 40    | 28    | 27    | 34    | 55    |
|           | 合計        | 269   | 301   | 282   | 318   | 356   |
| 代金回収・収納代行 | 業務受託      | 834   | 884   | 979   | 939   | 1,093 |
|           | コンサル・スポット | 9     | 19    | 28    | 18    | 16    |
|           | 合計        | 844   | 903   | 1,008 | 958   | 1,110 |
| 送金代行      | 業務受託      | 62    | 77    | 91    | 118   | 147   |
|           | コンサル・スポット | 1     | 0     | 0     | 7     | 4     |
|           | 合計        | 64    | 77    | 91    | 126   | 152   |
| 公共料金      | 業務受託      | 0     | 0     | 0     | 55    | 214   |
|           | コンサル・スポット | 0     | 0     | 0     | 0     | 4     |
|           | 合計        | 0     | 0     | 0     | 55    | 219   |
| ファイナンス他   | 業務受託      | 87    | 11    | 6     | 4     | 5     |
|           | コンサル・スポット | 33    | 0     | 0     | 0     | 0     |
|           | 合計        | 121   | 11    | 7     | 4     | 5     |
| その他       | 業務受託      | 37    | 30    | 32    | 18    | 19    |
|           | コンサル・スポット | 2     | 2     | 3     | 3     | 2     |
|           | 合計        | 40    | 33    | 36    | 21    | 22    |
| 合計        | 業務受託      | 1,251 | 1,276 | 1,365 | 1,419 | 1,782 |
|           | コンサル・スポット | 86    | 50    | 61    | 64    | 83    |
|           | 合計        | 1,338 | 1,326 | 1,426 | 1,484 | 1,865 |

## 1.7 収益構造

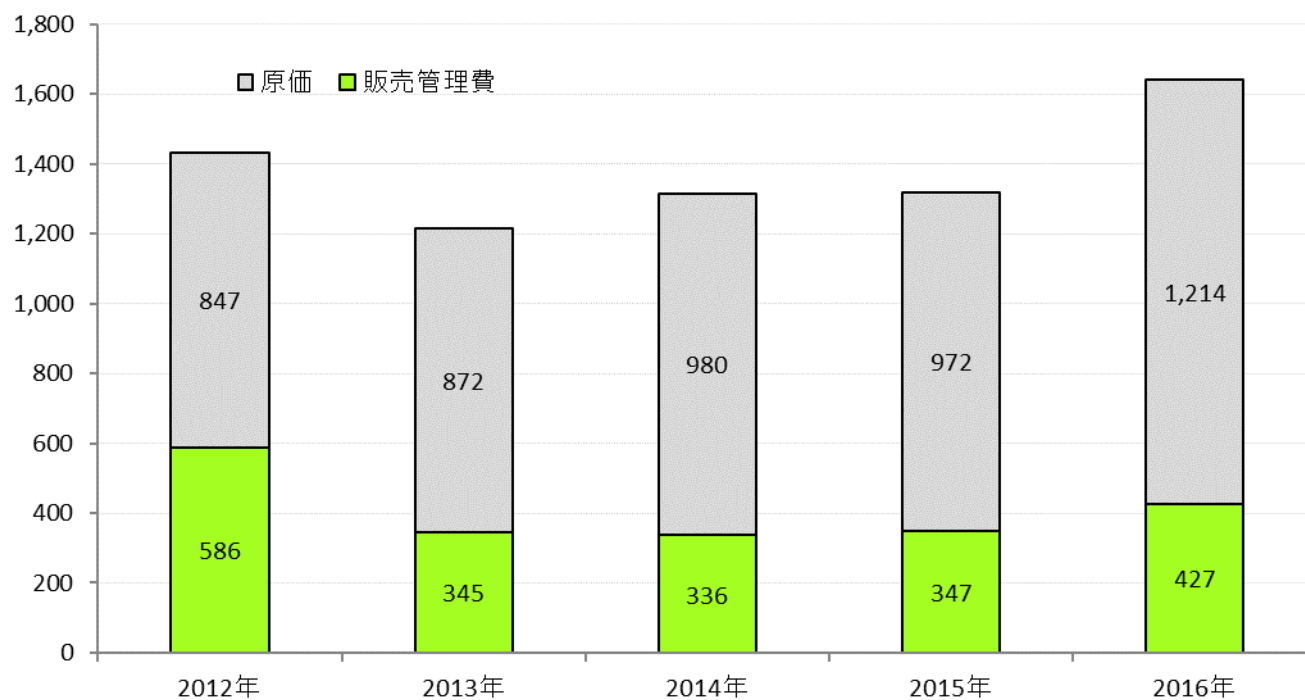
収納代行の増加に伴い2014年まで売上原価率増加。その後公共料金支払代行、粗利率の高いクイック入金が好調に推移したため売上原価率が減少。



## 1.8 コスト構造

単位：百万円

|       | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 売上原価  | 847   | 872   | 980   | 972   | 1,214 |
| 販売管理費 | 586   | 345   | 336   | 347   | 427   |



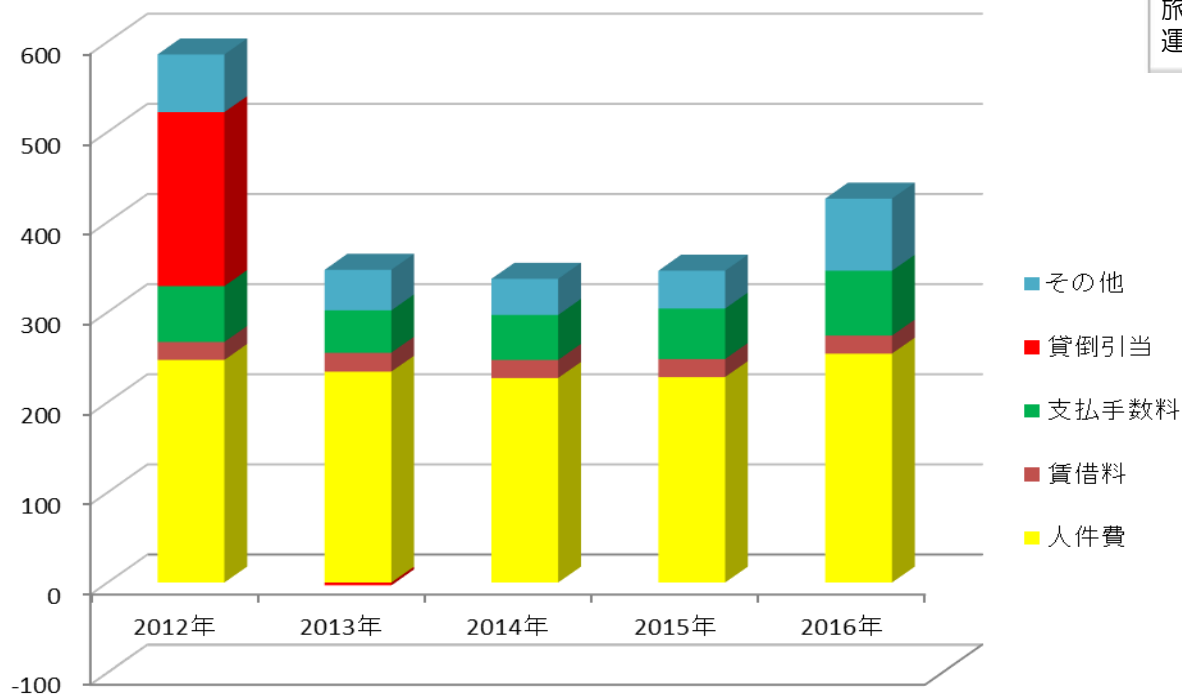
## 1.9 販売管理費内訳

### 販売管理費実績推移（百万円）

|       | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 人件費   | 247   | 234   | 227   | 228   | 254   |
| 賃借料   | 20    | 21    | 20    | 20    | 20    |
| 支払手数料 | 62    | 47    | 50    | 56    | 72    |
| 貸倒引当  | 193   | △ 3   | -     | -     | 0     |
| その他   | 64    | 45    | 40    | 42    | 80    |
| 合計    | 586   | 345   | 336   | 347   | 427   |

業務委託費 16百万円増加

QCSのれん償却 22百万円増加  
 求人費 8百万円増加  
 消耗品費 1百万円増加  
 旅費 1百万円増加  
 運賃 1百万円増加



## 1.10 連結貸借対照表の概要

単位：百万円

|         | 2015年12月期 |        | 2016年12月期 |        |        |
|---------|-----------|--------|-----------|--------|--------|
|         | 金額        | 構成比    | 金額        | 構成比    | 増減率    |
| 流動資産    | 5,949     | 91.6%  | 5,500     | 93.6%  | △7.5%  |
| 固定資産    | 542       | 8.4%   | 373       | 6.4%   | △31.1% |
| 資産合計    | 6,491     | 100.0% | 5,874     | 100.0% | △9.5%  |
| 流動負債    | 4,523     | 69.7%  | 4,036     | 68.7%  | △10.8% |
| 固定負債    | 131       | 2.0%   | 91        | 1.5%   | △30.7% |
| 負債合計    | 4,654     | 71.7%  | 4,127     | 70.3%  | △11.3% |
| 純資産合計   | 1,836     | 28.3%  | 1,746     | 29.7%  | △4.9%  |
| 負債純資産合計 | 6,491     | 100.0% | 5,874     | 100.0% | △9.5%  |

## 1.11 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

単位：百万円

|                  | 2015年12月期 | 2016年12月期 |                                                                                              |
|------------------|-----------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △ 42      | △ 466     | 増加要因として<br>投資有価証券評価損 201百万円<br>減少要因として<br>預かり金の減少 665 百万円<br>立替金の増加 57百万円                    |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 234     | △ 26      |                                                                                              |
| フリーキャッシュ・フロー     | △ 277     | △ 493     | 増加要因として<br>定期預金の払戻 400百万円<br>減少要因として<br>無形固定資産取得 42百万円<br>有形固定資産取得 15百万円<br>定期預金の預入 350百万円   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 19        | 36        |                                                                                              |
| 現金及び現金同等物の増減額    | △ 258     | △ 456     | 増加要因として<br>短期借入金の増加 100百万円<br>ストックオプション行使 12百万円<br>減少要因として<br>長期借入金の返済 52百万円<br>配当金の支払 23百万円 |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 5,642     | 5,383     |                                                                                              |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 5,383     | 4,927     |                                                                                              |

## 2 2017年12月期計画

### ■ 2017年12月期の連結業績見込み

通期売上高2,093百万円、営業利益175百万円、経常利益173百万円、  
親会社株主に帰属する当期純利益92百万円、期末配当25円

### ■ 主要施策：従来からの事業の見直しと将来に向けた基盤の確立（継続）

#### ① 既存ビジネスのサービスの見直し、機能のレベルアップと再構築

- ・ 収納代行                      口座振機能のレベルアップとスマートフォンの活用や仮想通貨の取扱検討
- ・ 支払代行                      公共料金支払代行サービスの拡販

#### ② スマートフォン決済サービス「Pay B」の展開と FelicaやNFCの利用

- ・ 金融機関向け販売に注力（スマホ即時口座振替サービス）
- ・ 払込票支払い、寄付、小口決済（病院、介護、学校等）の展開、効率化支援
- ・ 仮想通貨の取扱検討。

#### ③ NFCリーダーの販売

- ・ OTI（イスラエル）との連携により、FelicaとNFCの対応可能なリーダーの販売を開始し、2017年度からの市場での利用を開始。

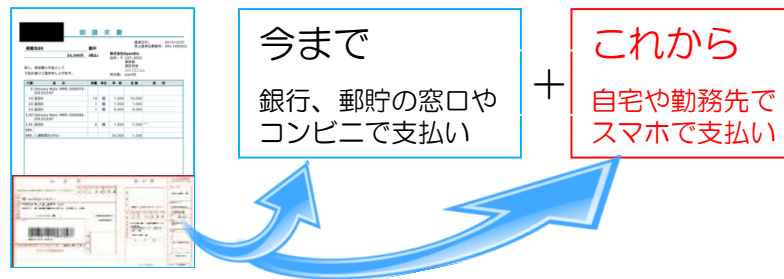
#### ④ インバウンド対応とクロスボーダー（越境EC）への対応

- ・ 中国からの来日観光客向け購買サポート及びスマホ決済機能の提供の拡大（銀聯、WeChat）
- ・ 中国国内各種ECサイト出展企業向けに販売する国内事業者への決済機能の提供と、これに伴う前払いの検討。

## 2.2 主要施策（1/4）※

### ① 既存ビジネスのサービスの見直し、機能のレベルアップと再構築

- ・収納代行 □振機能のレベルアップとスマートフォンの活用や仮想通貨の取扱検討  
（ネットでの□振申込と即時□振サービスの展開）  
即時口座振替機能の利用ツールの開発と展開
  - ・クイック入金サービスの決済手段として展開推進
  - ・払込票や集金通知書類からの支払い手段としてのスマホ利用の機能展開



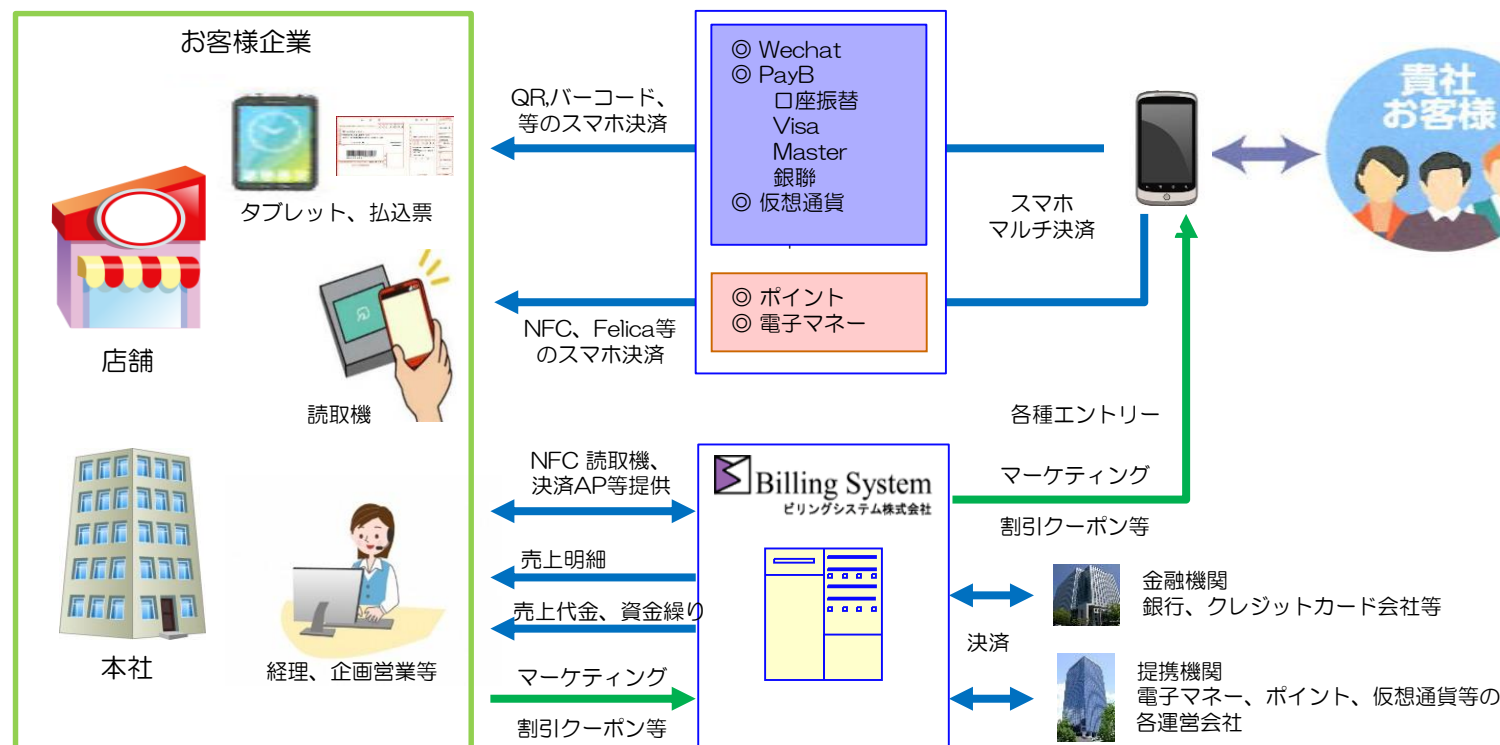
- ・支払代行 公共料金支払代行サービスの拡販
  - ・実例紹介、利便性の広報を進め、利用企業の拡大を図る
- ・仮想通貨の利用検討
  - ・集金手段、支払い手段としてのビットコインの利用方法検討
  - ・送金手段の基本機能としてのブロックチェーンの検討
  - ・利用アプリの検討

（※ 2.2 主要施策（1/4～4/4）には、2018年度以降の対応も含む）

## 2.2 主要施策（2/4）

- ② スマートフォン決済サービス 「Pay B」の展開と FelicaやNFCの利用
- ・金融機関向け販売に注力（スマホ即時口座振替サービス）
  - ・払込票支払い、寄付、小口決済（病院、介護、学校等）の展開、効率化支援
  - ・仮想通貨の取扱検討

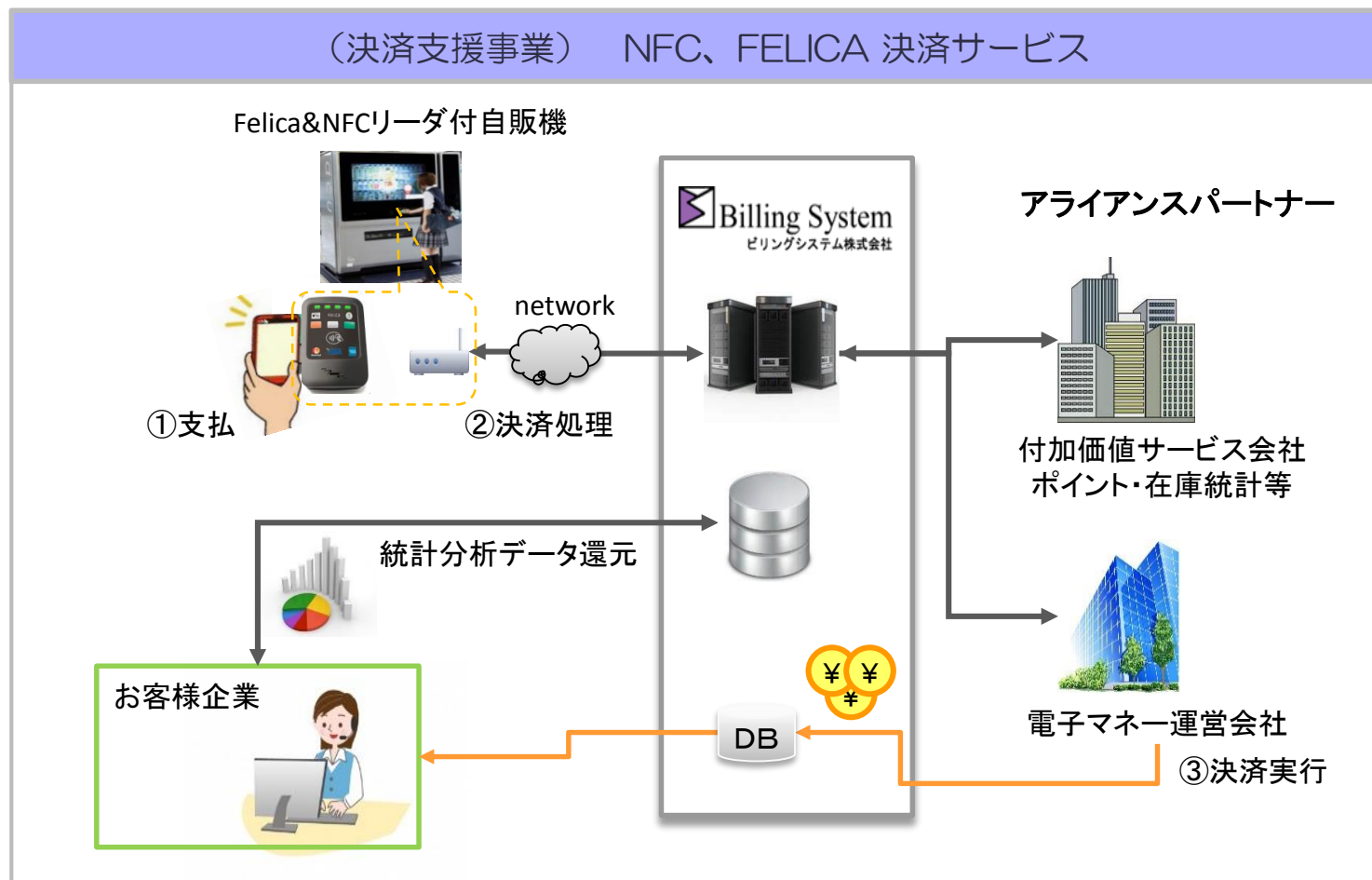
### （決済支援事業） スマートフォン決済サービス



## 2.2 主要施策（3/4）

### ③ NFCリーダーの販売

- OTI（イスラエル）との連携により、FelicaとNFC対応可能なリーダーの販売を開始。  
（まずは第1弾として、2017年度中に3,000台の自動販売機へ装着）



### ④ インバウンド対応とクロスボーダー（越境EC）への対応

- ・ 中国からの来日観光客向け購買サポート及びスマホ決済機能の提供の拡大（銀聯、WeChat）
- ・ 中国国内各種ECサイト出展企業向けに販売する国内事業者への決済機能の提供と、これに伴う前払いの検討。アライアンスにより以下実現を図る。

#### インバウンドと越境ECの関係

中国の消費者が、日本の商品を購入する為には、

1. 日本に行って購入する場合
  2. 中国国内で購入する場合
- の2通りがある。

1. 日本に行く消費者には、
  - ①旅行期間中の利便性が得られ、日本での買物が便利に出来る、インバウンド対応機能と
  - ②帰国後も日本商品が直接購入できる越境ECへの連携機能を提供する

2. 中国で購入する消費者には、越境ECの推進が必要  
対応対象は、大きく次の2つ
  - ①BtoBtoCの推進による、中国企業へ商品販売と当該企業のEC展開への対応
  - ②インバウンド対応との連携も含め、BtoCの対応による中国消費者への直販対応

#### スマホのアプリとSNSを利用して、情報収集と決済の基盤提供の準備

1. 観光地や行きたいお店、欲しい商品、等の情報収集、検索、交換ができる。
2. 更に、スマホで取得するクーポンや優待券を利用したお得な買い物ができる。
3. 銀聯、Wechat、クレジットカードで支払える。将来的には仮想通貨での支払いも検討。



来日した観光客は、スマホ決済

1. 観光地や有名店舗の情報収集や検索ができる  
・ 観光アプリと提携

2. 検索した各種施設の入場予約やホテル、レストランの予約、商品の予約購入等ができる

3. ネットでも対面でも支払いが出来る

◎店頭のカウンターやテーブルで支払い

- ・ デパート、ブティック、商店
- ・ カフェ、レストラン、居酒屋
- ・ 遊園地、観光地、お土産屋

◎ホテルの部屋で予約支払

- ・ 部屋のTVやパンフレットのお土産を購入/支払
- ・ 翌日部屋やフロントで受取り
- ・ レストラン等の予約と前払い
- ・ 拝観や入場の予約と前払い

◎船内や停泊地の買物と予約購入

- ・ 船内ブティックの買物の支払
- ・ 停泊地のデパートや有名商店での商品の予約購入

## 2.3 2017年12月期 業績見通し

連結

単位：百万円

|                   | 2016年12月期 |       | 2017年12月期 |        |
|-------------------|-----------|-------|-----------|--------|
|                   | 実績        | 前期比   | 通期計画      | 前期比    |
| 売上高               | 1,865     | 25.7% | 2,093     | 12.2%  |
| 売上総利益             | 651       | 27.4% | 668       | 2.7%   |
| 営業利益              | 223       | 35.9% | 175       | △21.3% |
| 経常利益              | 222       | 34.8% | 173       | △22.1% |
| 親会社株主に<br>帰属する純利益 | △ 55      | -     | 92        | -      |

### POINTS

- ASPビジネスの性質上、事業拡大局面では投資先行型となるため、経費負担により減益

## 2.4 2017年販売管理費

単位：百万円

|       | 2016年12月期 | 2017年12月期 | 差額   |
|-------|-----------|-----------|------|
| 人件費   | 254       | 290       | 36   |
| 賃借料   | 20        | 25        | 4    |
| 支払手数料 | 72        | 55        | △ 16 |
| 貸倒引当  | 0         | 0         | 0    |
| その他   | 80        | 121       | 40   |
| 合計    | 427       | 493       | 65   |

- 人員増に伴う人件費増加36百万円  
（原価部門労務費と合算すると約50百万円増加）
- 増床に伴う賃借料増加5百万円
- その他項目としてスマホマルチ決算関連販促費38百万円増加

### 設備投資

|     |        |                        |
|-----|--------|------------------------|
| ハード | 57百万円  | (商用サーバ、バックアップセンター関係投資) |
| ソフト | 191百万円 | (収納代行関連システム、インバウンド対応)  |

### 採用

|                   |      |
|-------------------|------|
| 営業本部              | +7名  |
| 業務本部              | +4名  |
| システム本部            | +2名  |
| その他パート派遣          | △1名  |
| 合計                | +12名 |
| (社員、派遣、パート合計で68名) |      |

## 2.6 配当

円



# 3 事業概要

## 3.1 会社概要

### ■ 商号

ビルングシステム株式会社  
(Billing System Corporation)

### ■ 設立

2000年6月

### ■ 資本金

1,237百万円  
(2016年12月31日現在)

### ■ 事業内容

自社決済プラットフォームを基盤とした  
決済業務支援サービスの提供

### ■ 免許

貸金業務取扱主任者

### ■ 常勤役員

代表取締役 江田 敏彦 (CEO)  
取締役 住原 智彦 (CFO)  
取締役 芳賀 正彦 (CMO&CTO)  
監査役(社外) 鈴木 誠二郎

### ■ 監査法人

有限責任監査法人トーマツ

### ■ 売上推移

(百万円)

| 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1,338 | 1,326 | 1,426 | 1,484 | 1,865 |

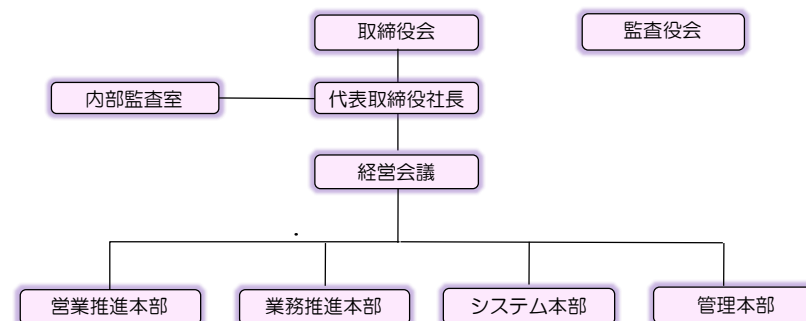
### ■ 主要株主の状況(上位10名)

(2016年12月31日現在)

|    | 株主名                                            | 所有株数    | 持株比率(%) |
|----|------------------------------------------------|---------|---------|
| 1  | 株式会社T-SKY                                      | 149,700 | 9.4%    |
| 2  | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                      | 126,600 | 7.9%    |
| 3  | OKASAN INTERNATIONAL (ASIA) LIMITED A/C CLIENT | 117,800 | 7.4%    |
| 4  | 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ                               | 110,000 | 6.9%    |
| 5  | 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)                      | 68,200  | 4.3%    |
| 6  | 住原 智彦                                          | 57,700  | 3.6%    |
| 7  | AGキャピタル株式会社                                    | 50,600  | 3.2%    |
| 8  | 株式会社大塚商会                                       | 50,000  | 3.1%    |
| 9  | 柿久保 譲                                          | 43,600  | 2.7%    |
| 10 | 江田 敏彦                                          | 38,200  | 2.4%    |

(自己株式47,500株を除いたベース)

### ■ 組織図



### ■ 総合決済サービスのご提供

売上（代金回収・請求）、仕入・購買・経費（送金・支払）、資金繰り（ファイナンス）など、企業活動のあらゆる決済をトータルサポート

### ■ 企業と企業、金融機関をつなぐHUBとして

貴社とお客様、そして金融機関（銀行、信金・信組、クレジットカード会社、証券会社、生損保会社等）をつなぐHUBとしてサービスをご提供

### ■ 多様な決済をワンストップで

クレジットカード決済、口座振替、払込票、コンビニ決済、ペイジー決済、電子マネー決済など多彩な決済手段をワンストップでご提供

### ■ あらゆるチャネルで

パソコン、インターネット、スマートフォン、タブレット、コンビニ、店頭、携帯電話、ATM自動販売機等あらゆるチャネルの決済をサポート

### ■ BtoCもBtoBも

法人向けサービス（BtoB）も、個人向けサービス（BtoC）も、お客様の属性に関わらず、オールラウンドな決済サービスをご提供

### 1,500の提携金融機関

全国1,500の金融機関\*との提携をベースに全国レベルでサービスをご提供

\* メガバンク・都市銀行、ゆうちょ銀行、地方銀行、ネット銀行、信用金庫・信用組合、農協・漁協 他

### 安心のセキュリティ

クレジットカード業界の世界的セキュリティ標準であるPCIDSSの認証に加えて、プライバシーマーク、ISMS (ISO/IEC 17799) の認証も取得

### 世界の最先端技術を

N F C等に関わる世界の最先端技術を調達\*  
最新技術で売上UP、収益向上、チャネル拡大の機会をご提供

\*弊社はOn Track Innovations (OTI) 社（本社：イスラエル）と業務提携し、世界の最新決済テクノロジーをご提供しております。

ご清聴ありがとうございました。



本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

I Rお問い合わせ先  
ビリングシステム株式会社 電話03-5501-4400  
toiawase@billingsystem.co.jp